



元気いっぱい！苺っポー



3月

No. 224

令和6年3月22日

夢と希望に向かって
努力する子ども

友達と仲良く
助け合う子ども

約束や決まりを守り
あいさつする子ども

令和5年度のすべての教育活動が終わりました。

過日の3月15日（金）111名の6年生が来賓、保護者の皆様と教職員に見守られ巣立っていきました。6年生は身構え・心構えをきちんとし最上級生として小学校生活最後の行事を立派に終わらせることができました。4月から苺田小学校の卒業生として胸を張り、中学校でもがんばってくれることと思います。厳かな中にも心温まる卒業証書授与式が挙行できました。心よりお礼申し上げます。

また、本日3月22日（金）の修了式では、全校児童が体育館に集合し、各学年の代表児童へ修了証書を渡しました。この1年間、各学年のめあてに向かって努力したことをふり返るとともに、がんばった自分を見つけて、4月から新しいスタートが切れるよう、各学級にて支援しました。

ありがとう

清水英雄

つらいことがおこると 感謝するんです
これでもた強くなれると ありがとう
悲しいことがおこると 感謝するんです
これで人の悲しみがよくわかると ありがとう
ピンチになると 感謝するんです
これでもっと逞しくなれると ありがとう
つらいことも 悲しいことも
ピンチものりこえて
生きることが人生だと 言い聞かせるのです
自分自身に
そうすると ふっと楽になって
楽しくなって
人生が とても光り輝いてくるんです
ピンチはチャンスだ
人生はドラマだ
人生が とてもすてきに すばらしく
よりいっそう光り輝きます
ますます光り輝く人生を
ありがとうの心と共に

本日をもって、令和5年度の苺田小学校全教育活動が終了いたしました。
1年間、ご協力くださいました保護者や地域の皆様、本当にありがとうございました。
来年度もよろしく願いいたします。

<令和5年度 修了式>

令和6年3月22日

まず、お知らせです。3月15日に令和5年度卒業証書授与式がありました。さすが6年生、立派な態度で、この小学校から巣立っていきました。

卒業式で6年生には卒業証書を渡しましたが、今日の修了式では、校長先生から各クラスの代表児童に全員分を、その後、各クラスで担任の先生より修了証書を渡します。

修了証書は、その学年で学ばなければならない全てのことを学びましたという証です。1年間で、だいたい1000～1200時間一生懸命勉強し、それぞれの学年の内容を全部修了しましたという証明です。また、あゆみの中には、みなさんのがんばりが詰まっています。担任の先生からのたっぷりの愛情もいっぱい詰まっています。先生からの言葉にはみなさんが今以上に成長するためのヒントがたくさんあります。おうちの方とよく読んで、これからがんばることを見つけてもらえるとうれしいです。

さて、卒業式や間もなく行われる入学式などの式典は、巣立ちをお祝いしたり、学校に新しい仲間を受け入れたりする、とても大切な行事です。そのため、長い間、学校の伝統を大切にできるだけ式のやり方を守って続けられてきました。

私が今日、皆さんに考えてほしいのは「続ける」ということについてです。「続ける」というと、私たちは「同じことを繰り返す」というふうに考えてしまいがちです。しかし、何かを続けていくために、または前へ進んでいくために、**変える、変わること（変化）**が必要だと私は考えます。アメリカ合衆国第35代大統領のジョン・F・ケネディは「変化とは人生の法則です。過去と現在しか見ない人は、確実に未来を見失います」と言っています。また、進化論で有名なイギリスの自然科学者のチャールズ・ロバート・ダーウィンは「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」と言っています。

もうすぐ、皆さんは新しい学年へと進級します。5年生は6年生として、学校のリーダーとなります。これからも皆さんが元気で楽しく友だちと一緒に学校で学び続けていくために、皆さん一人一人が新しい気持ちで、令和5年度とは「**変わる**」ことを意識してほしいと思います。

1年前の新入生だった1年生は、2年生になったら何が変わればいいのでしょうか。春から高学年の仲間入りをする3年生は、4年生になったらどう変わればいいのでしょうか。2年生、4年生にも学び続けていくために「**変わる**」が必要になるところが、きっとあるはずです。そして5年生は卒業生からのバトンを受け継ぎ、きっとその準備を始めているはずです。先生方も、皆さんと一緒に学び続けていくために、**変わり続けて**いきます。まもなく始まる新しい年度も、みんなで一緒に前へ進んで行きましょう。